

八戸工業大学インフラ・防災技術社会システム研究センターは、復興と防災の知の拠点として、人口減少社会におけるインフラのあり方、その維持管理と長寿命化の技術開発ならびに防災・減災のための技術開発、これらを担う人材の育成・社会システム開発などの研究活動に取り組んでいます。

今回のフォーラムは、「予期せぬ自然災害に対する危機管理」をテーマとします。これらの災害の状況や課題などを教訓とし、今後起こりうる災害への対策・対応について考えます。このフォーラムは、私立大学研究ブランディング事業の一環として開催します。

令和2年 **3** 月 **11** 日 (水)  
**13:30~16:30**

参加費無料

## プログラム

○開会挨拶 八戸工業大学 学長 長谷川 明  
八戸市長 小林 眞

○基調講演 「リスク論から見た自然災害：  
被害を大きくするものは何か」  
東北学院大学 工学部 環境建設工学科 教授 飛田 善雄 氏

○報 告 「八戸市における令和元年台風第19号による  
被害状況等について」  
八戸市 市民防災部 防災危機管理課 主幹 石塚 昌範

○パネルディスカッション  
「たくましい地域づくりとは ～世代を越えた災禍の伝承～」  
コーディネーター  
八戸工業大学 工学部 電気電子工学科 教授 関 秀廣

- ①「東日本大震災を風化させない為に」  
八戸市みなと体験学習館 館長 前澤 時廣 氏
- ②「災害による犠牲者を出さないために  
～震災と令和元年台風第19号の調査・研究から～」  
八戸工業大学大学院 博士前期課程 堀合 紳弥さん
- ③「八戸工業大学第一高等学校消防クラブの活動について」  
八戸工業大学第一高等学校 2年 田名部 領さん, 中野 広貴さん

## 会場

八戸市津波防災センター（沼館4丁目6-19）

※駐車場に限りがございますので、公共交通機関の利用にご協力をお願いいたします。

## お申込み方法

- ①FAX または E-mail でのお申込み  
参加申込書に必要事項をご記入の上、お送りください。なお、参加申込書はホームページ (<https://www.hi-tech.ac.jp/entry/12695>) よりダウンロード可能です。
- ②WEB でのお申込み  
申込フォーム (<https://forms.gle/mntx1sDLpEa1E5Qu5>) にて、必要事項をご記入ください。

## お問い合わせ

八戸工業大学 インフラ・防災技術社会システム研究センター  
(事務局：社会連携学術推進室)  
TEL: 0178-25-8005 FAX: 0178-25-1966 E-mail: [kaikaku@hi-tech.ac.jp](mailto:kaikaku@hi-tech.ac.jp)

主 催：八戸工業大学インフラ・防災技術社会システム研究センター、八戸市  
共 催：八戸市高等教育連携機関（八戸工業大学、八戸学院大学、八戸学院大学短期大学部、八戸工業高等専門学校）  
後 援：デーリー東北新聞社、東奥日報社、NHK 青森放送局、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、エフエム青森、八戸テレビ放送、コミュニティラジオ局 BeFM、  
(一財) 青森県工業技術教育振興会

# 3.11 防災フォーラム 「予期せぬ自然災害に対する危機管理」 2020

# 3. 11 防災フォーラム 2020

— 予期せぬ自然災害に対する危機管理 —

## 参加申込書

八戸工業大学 インフラ・防災技術社会システム研究センター 行

**FAX : 0178-25-1966**

※参加ご希望の方は下記欄に必要事項をご記入いただき、上記 FAX または E-mail にてお申込みください。  
※おひとりの場合でもこの用紙をお使いください。

申込締切日：令和2年3月2日（月）

令和2年 月 日

会社名・団体名		
所在地	〒	
連絡先	TEL :	FAX:

所属・役職名	氏名
	(フリガナ)
	(フリガナ)
	(フリガナ)
	(フリガナ)

※お申込みに際してご提供いただく個人情報は、今回のフォーラムの出欠の確認、および今後の八戸工業大学主催の各種講座等事業のご案内等のみ使用させていただきます。

### 会場ご案内図



### お問い合わせ

八戸工業大学 インフラ・防災技術社会システム研究センター  
(事務局：社会連携学術推進室)  
〒031-8501 八戸市大字妙字大開 88-1  
TEL : 0178-25-8005 FAX : 0178-25-1966  
E-mail : [kaikaku@hi-tech.ac.jp](mailto:kaikaku@hi-tech.ac.jp)

駐車場に限りがございますので、できるだけ公共交通機関の利用にご協力をお願いいたします。